

豊能町総合まちづくり計画(案) パブリック・コメント実施結果

豊能町総合まちづくり計画審議会
(令和4年1月)

【目次】

1. 実施概要	2
2. 提出件数	2
3. ご意見及び町の考え方	3
(1) 基本構想	3
(2) 基本計画	7
(3) 総合まちづくり計画と第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略との関わり	18
4. パブリック・コメントによる変更	19

1. 実施概要

期間：令和3年12月16日（木）～ 令和4年1月16日（日）

閲覧：ホームページ及び豊能町役場、吉川支所、図書館、中公公民館図書室

提出：まちづくり創造課への持参・郵送、電子メール、FAX

2. 提出件数

受付件数：6件（持参1件、郵送0件、電子メール5件、FAX0件）

意見数：66件（基本構想20件、基本計画45件、総合戦略との関わり1件）

意見による変更：12箇所（基本構想5箇所、基本計画6箇所、総合戦略との関わり1箇所）

3. ご意見及び町の考え方

(1) 基本構想

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
1	<p>“まちづくり”において解決すべき課題に、次の項目を追加してほしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイオキシン問題の解決 <p>ダイオキシン問題は、豊能町に対するイメージを悪くしています。ダイオキシン問題の解決は、定住促進、交流人口を増やすためにも重要です。</p>	16	第3章 3つの視点から見るまちの課題	<ul style="list-style-type: none"> ●ダイオキシン問題については、豊能町にとって重要な行政課題と認識しています。現状では、まず豊能郡環境施設組合において対応しているところです。 ●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。 	変更なし
2	人口減少と老年人口比率が高いことは致命的な問題ですが、明確に強調しないと住民には訴求出来ません。より強く表現されてはいかがでしょうか。	19-20	第4章 総人口の推移と人口動態の動向	<ul style="list-style-type: none"> ●年齢区分別人口の推移や、老年人口割合・年少人口割合の近隣市との比較を掲載しています。 ●令和2年国勢調査の結果が出ましたので、より現況を明確にするために追記します。 	変更
3	「人口減少に歯止めをかけるための取り組みとともに、避けることができない人口減少・超高齢社会にしっかりと対応するための取り組みを両輪として進め」の視点は重要だと思います。	22	第4章 基本的な視点と取り組みの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●貴重なご意見をいただきありがとうございます。 	変更なし
4	<p><「人口ビジョン」について></p> <p>「人口ビジョン」の中では、推計A～Cで、毎年何組かの家族の転入が想定されています。前述したことから考えて、どんな家族に来て欲しいのか、を明確にすべきです。もちろん、そうしたビジョンにあった人々だけを受け入れる、他の人々は拒否するというものではありません。しかし、町として、こういう人々に来てもらって、一緒にまちづくりをして欲しいというビジョンは必要だと思います。</p>	23	第4章 人口の将来展望	<ul style="list-style-type: none"> ●貴重なご意見として承ります。 ●本計画では、重点課題として「生産年齢人口の定住促進」「子育て世帯の転入促進」「健康寿命の延伸」の3つを掲げています。 ●少子高齢化が急速に進んでいる中で、まちの活力を維持し続けるために、人と人がつながり合い、お互いに自分らしさを発揮することを応援し合うまちとして、住民が主人公のまちづくりを推進することで、まち全体に魅力と賑わいをつくり出し、幸福度が高いまちとなることをめざします。 	変更なし
5	「自然に抱かれた多様性・創造性で未来が輝くまち とよの」について、個人的には審議会で議論された「里山タウン」という表現が端的に表していると思いますが、提案されているものでも良いと思います。	25	第5章 まちの将来像	<ul style="list-style-type: none"> ●貴重なご意見をいただきありがとうございます。 	変更なし
6	「自然に抱かれた多様性・創造性で未来が輝くまち とよの」とありますが、とよののまちがどんな町なのかイメージがわかりません。	25	第5章 まちの将来像	<ul style="list-style-type: none"> ●東西それぞれが作り上げてきた魅力を融合させることで、農村と住宅街から生み出される多様性と創 	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
	審議会で議論された、「里山タウンとよの」のほうがイメージがわき、良いと思います。			造性を大切に「新しい豊能町らしさ」をつくり上げ、その魅力に溢れるまちづくりに取り組んでいくことを表現しています。	
7	「本町では、東西それぞれが作り上げてきた魅力を融合させることで、農村と住宅街から生み出される多様性と創造性を大切に「新しい豊能町らしさ」をつくり上げ、その魅力に溢れるまちづくりに取り組んでいくことで、他地域にはない新たな価値を創出し、持続可能な地域づくりをめざしていきます。」について、ぜひそのようなまちを目指してほしいと思います。	25	第5章 まちの将来像	●貴重なご意見をいただきありがとうございます。	変更なし
8	<将来像とまちづくりの方向性> 豊能町の将来像として「自然に抱かれた多様性・創造性で未来が輝くまち とよの」というキャッチコピーが出されています。審議会の議論の中でも意見が出されていましたが、このキャッチコピーの「とよの」の部分のを他の市町村名に変えても違和感なく通用してしまいます。これは、ある意味では、豊能町は町全体としての「売り」に乏しいことの裏返しとも思えます。東地区や西地区には、それぞれ地域としての特徴があり、「売り」となるイメージも作り出せると思いますが、豊能町という単位で見るとそのイメージがぼやけてしまうというこの町の現実を反映して、ぼんやりとしたキャッチコピーになっているという気がしてなりません。ですから、発想の仕方を逆転させて、東地区、西地区それぞれの「まちづくり」のイメージをまず描き出した上で、それらを統一する豊能町の「シンボル」的イメージをキャッチコピーとして打ち出すのがわかりやすいのではないのでしょうか？	25	第5章 まちの将来像	●まちの将来像は、東西それぞれが作り上げてきた魅力を融合させることで、農村と住宅街から生み出される多様性と創造性を大切に「新しい豊能町らしさ」をつくり上げ、その魅力に溢れるまちづくりに取り組んでいくことを表現しています。 ●貴重なご意見として承ります。	変更なし
9	10年後に住民1万5千人維持を目標にするのは、現状からしてやむを得ないのでしょうか、そんな町からは皆が逃げ出したくなり、転出傾向に拍車をかけることとなります。せめて将来2万人を目指すことを高く掲げてはいかがですか。	26	第5章 目標人口	●目標人口の下段にも記載しているとおり、審議会においても、人口については公共施設の維持のためにも2万人を目指すべきとの意見もありました。しかしながら、社会潮流や本町の状況などをも踏まえ、10年後に必ず維持する人口としてはより現実的な視点により15,000人として設定し、本計画を推進する中で、より多くの人口を確保できるようなまちづくりを進めていきたいと考えています。	変更なし
10	重点課題と基本指針との関係を示す記載を入れた方がわかりやすいです。	27	第5章 基本構想の構成	●「第3章まちづくりの課題」において示した解決すべき課題への取り組みとして、特に重要と思われる施策を端的に表したものが重点課題です。	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
				●基本指針は、重点課題以外の課題も含んだ「まちづくりの課題」に対して、本計画において取り組むべき3つの指針として設定しているものです。	
11	基本指針1「住民役のまちを作り出す“ひとづくり”」の「作り出す」は「つくり出す」の誤植ではないでしょうか。	27	第5章 基本構想の構成	●ご指摘のとおり文言を修正します。 ●この修正に合わせて、P36 及び P.42 も修正します。	変更
12	基本指針1 人も自然も多様性があるまち、ということを強調する意味から「人と人がつながり合い、お互いに自分らしさを発揮することを応援し合う多様性を発揮するまちとして、」と下線部を挿入したらどうでしょうか。	28	第5章 基本指針と基本 施策	●ご意見のとおり文言を追加します。	変更
13	基本指針1●まちの未来につながる教育の推進 「どんな人に住んでほしいのか。」という表現は、どんな人に移住・転入してほしいのか、という意味にもとれます。削除した方がよいと思います。	28	第5章 基本指針と基本 施策	●ご意見のとおり文言を削除します。	変更
14	基本指針1●まちの未来につながる教育の推進 「とよの未来学」はグローバルな、そして地域に愛着と誇りを持つ人を育てるものと理解しています。「そんな、豊かでアイデンティティをもちグローバルな行動力のある人を育てていくための～」と下線部を追加してほしいと思います。	28	第5章 基本指針と基本 施策	●豊能町では「グローバル人材」の育成をめざし、その取り組みの一環として「とよの未来科」の創設を推進しています。 ●「とよの未来科」では、「とよの(ふるさと)」について学び、その学びで得た経験を活かし、グローバルな視点で「豊能町の未来」のために自分たちでできることを考える、子ども達が主体的に学習に取り組むことを目指します。 ●ご意見をいただいた基本施策「まちの未来につながる教育の推進」では、3つの施策を設定していますが、「とよの未来科」は、施策1で取り組む内容として記載しています。(P43 主要な取組み①をご覧ください。)	変更なし
15	基本指針1●いつまでも健康で、みんなが活躍するまち 「そんな未来に向けて、健康寿命を延ばしいびつな人口構成の中でもまちに活力を生み出すため～」と「健康寿命を延ばす」ことの重要性を入れて欲しいと思います。	28	第5章 基本指針と基本 施策	●ご意見のとおり文言を追加します。	変更
16	(1)市街地整備ゾーン 東地域については「役場周辺を中心に沿道整備を行い、交流人口受け入れのための観光施設や交流施設の拠点整備の可能性を検討します。」とされていますが、東地域に存在している役場、中央公民	32	第5章 土地利用構想	●町の方針については、豊能町公共施設再編検討委員会からの報告を受けた後、検討・決定する予定です。	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
	館、診療所、旧双葉保育所などの公共施設の再編がどうなるかが大きな問題です。また、旧双葉保育所等に保管されているダイオキシン汚染物の処理問題があります。「豊能町公共施設再編に関する中間報告書（素案）〔令和3年12月14日開催第5回公共施設再編検討委員会資料〕」で述べているように「具体的にどの施設を整備・更新し、どの施設を廃止・縮小していくかは、町の責任において判断すべき事項」です。町の方針は定まっているのでしょうか。				
17	(1) 市街地整備ゾーン 西地域については、「新たな市街地形成の可能性を検討します。」とされていますが、どの地域を想定されているのでしょうか。本当に可能性があるのでしょうか。	32	第5章 土地利用構想	<ul style="list-style-type: none"> ●特に地域を想定しているものではありません。 ●地域には固有の特徴があり、新たな市街地形成について、可能性があるかどうかも含めて検討することを表現しています。 	変更なし
18	(1) 市街地整備ゾーン 第5回豊能町公共施設再編検討委員会（12月14日）で示された参考資料2「公共施設機能面の報告～住民ニーズと課題・求められる施設～」豊能町公共施設再編検討プロジェクトチームの機能面についての整理～吉川支所（行政系施設）～で次のように記載しています。 機能として求められること *本庁と同じ機能を求められている。 この住民ニーズにどのように応えられようとしているのでしょうか。	32	第5章 土地利用構想	<ul style="list-style-type: none"> ●豊能町公共施設再編検討委員会からの報告を受けた後、西地区に必要な行政サービスを検討していきます。 	変更なし
19	③学校跡地利活用の考え方 ・「規制緩和」や「民間活力」が一人歩きしています。 ・「豊能町公共施設再編に関する中間報告書（素案）〔令和3年12月14日開催第5回公共施設再編検討委員会資料〕」に記載されている、「小学校は住民にとって、思い入れのある施設ですので、住民と対話しながら、丁寧な手続きが必要です。」という観点を取り入れたものにしてほしいものです。	32	第5章 土地利用構想	<ul style="list-style-type: none"> ●跡地利活用の考え方として、規制緩和や民間活力の導入も視野に入れていきます。 ●実際の跡地利活用については、豊能町公共施設再編検討委員会からの報告を受けた後、住民と対話しながら丁寧に進めていきます。 	変更なし
20	課題整理は網羅できていますが、前計画の成果分析ができていないのかよく分かりません。過去の計画の成果分析について、丁寧に説明されてはどうでしょうか。	その他	過去計画の成果分析について	<ul style="list-style-type: none"> ●第4次豊能町総合計画の成果分析は、内部評価手法による検証を行い、豊能町総合まちづくり計画策定審議会へ報告したうえで審議しています。 ●評価結果を端的にまとめることが困難であることから、本計画への掲載はしていません。 	変更なし

(2) 基本計画

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
21	SDGsのロゴマークを入れたのは、非常に良いと思います。	全体	SDGsについて	●貴重なご意見をいただきありがとうございます。	変更なし
22	アルファベット、カタカナ語が多用されていて、理解に苦しむ語があります。説明をつけてほしいと考えます。	全体	用語の説明について	●資料編として用語集を作成します。	変更なし
23	●都市×里山の融合による魅力 「都市×里山の融合による魅力」この打ち出しは非常に良いと思います。豊能町の売りはなんといっても、「自然とベッドタウン」「里山とタウン」です。そして、教育。加えて、西地域でいえば「交通の便」です。	34	第1章 3つの大きな考え方	●貴重なご意見をいただきありがとうございます。 ●本町の魅力である都市と里山の双方がつながり、融合するかたちで、多様性・創造性に富んだ持続可能な自立したまちを目指します。	変更なし
24	●地域資源を活かした新しい仕事スタイルへの挑戦 ●新しいまちの生活スタイルの創造 「具体的にどの施設を整備・更新し、どの施設を廃止・縮小していくか」はまちづくりにとって非常に重要です。個人的には意見を持っています。町として住民の皆さんに案を示し、丁寧に説明を行い、合意を得るよう努力してほしいと思います。 町において、「具体的にどの施設を整備・更新し、どの施設を廃止・縮小していくか」の方向付けはなされているのでしょうか。	35	第1章 3つの大きな考え方	●施設再編の方向性については、豊能町公共施設再編検討委員会からの報告を受けた後、住民の皆さんの意見も踏まえながら検討・決定する予定です。	変更なし
25	主要な取組み「社会を生き抜く力」のある青少年の育成」において、「充実させ」の後に「アイデンティティをもちグローバルな観点を持つ人材の育成を目指す。」の文言を追加する。	37	第2章 基本指針1	●ご意見を参考に所要の修正を行います。	変更
26	主要な取組み「元気な高齢者が活躍するまち」 東ときわ台の老人会の卒業は80歳のようです。私も80歳になりましたが、もう少し頑張ろうと思います。 「70代半ばまで」の「半」を削除し、「70歳代まで」と、目標を上げたらどうでしょうか。	37	第2章 基本指針1	●ご意見を参考に所要の修正を行います。	変更
27	主要な取組み「多様なニーズに応える自然の中の小さな学びの場」是非実現してほしいものです。	37	第2章 基本指針1	●貴重なご意見をいただきありがとうございます。	変更なし
28	主要な取組み「魅力ある公園の利活用」 先日開催された「街区公園」の研修会での議論を受けてのものです。そこでは、機能別公園などの問題提起がありました。「利用状況や管理状況の良くない公園を」を削除し、「公園のあり方を再検討し」に変更したらどうでしょうか。	37	第2章 基本指針1	●公園の老朽化や利用者が少ないこと、また適切な維持管理がされていないことなどが課題となっていることから、あえてこの表現を使っています。(P53 主要な取組み②のR4時点をご覧ください。)	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
29	主要な取組み「ベンチャー企業のための稼げる受け皿づくり」 「再編により空いた学校や」を削除して欲しい。学校跡地の活用方向をここで決めるような記載は好ましくありません。	39	第2章 基本指針2	<ul style="list-style-type: none"> ●可能性の一つとして「再編により空いた学校や」と表現しています。 ●学校の跡地利活用については、豊能町公共施設再編検討委員会からの報告を受けた後、住民と対話しながら丁寧に進めていきます。 	変更なし
30	主要な取組み「地域新電力で新しいまちづくり」 ・項目を「エネルギーの地産地消で新しいまちづくり」に変更する。 ・「バイオマス、太陽光など再生可能なエネルギーによるエネルギーの地産地消を目指す」の項を追加する。	39	第2章 基本指針2	<ul style="list-style-type: none"> ●この主要な取組みは、令和2(2020)年7月に設立した地域新電力会社「株式会社能勢・豊能まちづくり」の取組みを進めていくものです。(P60 主要な取組み②をご覧ください。) ●エネルギーの地産地消は、国の目指すゼロカーボンに向けて必要な取組みだと理解しています。本町においても地域新電力会社「株式会社能勢・豊能まちづくり」と連携しながら取り組んでいきます。 	変更なし
31	主要な取組み「自然の中で見る・遊ぶ・食べる。ロケーションを活かしたスポットの創出」 「妙見口駅前、高山地区、棚田など」に特定されたものでしょうか。国道423号線沿線にはスポットを創出しないのでしょうか。再検討してほしいものです。	39	第2章 基本指針2	<ul style="list-style-type: none"> ●地域を特定した取組みではありません。 ●町外からの観光客を受け入れていくために、本町の最大の魅力である自然を積極的に活用したスポットの整備や周辺の施設整備に取り組んでいきます。(P61 主要な取組み②をご覧ください。) 	変更なし
32	主要な取組み「農産物直売所で地産地消」 そのためにも「流通拠点」をどこにするかを、町として早期に決めることが求められます。	39	第2章 基本指針2	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の直売所の規模が小さいことは課題ですが、農産物の供給量を増やす取組みも必要です。 ●適切な規模で販売できる場所や方法として、ネット販売や移動販売などの新たな販路の開拓についても取り組んでいきます。(P64 主要な取組み①をご覧ください。) 	変更なし
33	主要な取組み「まちづくりを支える交通サービスの提供」 「福祉の視点」は非常に大切だと思います。	41	第3章 基本指針3	<ul style="list-style-type: none"> ●貴重なご意見をいただきありがとうございます。 	変更なし
34	主要な取組み「自分たちのまちは自分たちで。協働のまちづくり」 「協働のまちづくり」の前に「行政と住民との」の文言を入れ、誰と誰が、協働するかを明確にした方が良くと思います。	41	第3章 基本指針3	<ul style="list-style-type: none"> ●「協働のまちづくり」には、行政と住民との協働だけでなく、自治会やボランティア、地域コミュニティなどの「住民同士の協働」も必要だと考えています。(P.69 主要な取組み②をご覧ください。) 	変更なし
35	主要な取組み「ICTと自然が融合した低炭素なまちづくり」 「気象危機」が叫ばれている中、適切な取組みだと思います。	41	第3章 基本指針3	<ul style="list-style-type: none"> ●貴重なご意見をいただきありがとうございます。 	変更なし
36	主要な取組み「自然とふれあえる場づくり」 「協働による保全活動を行いながら、体験型環境学習に取り組む」場は大切です。	41	第3章 基本指針3	<ul style="list-style-type: none"> ●貴重なご意見をいただきありがとうございます。 	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
37	主要な取組み「情報発信と憩いの拠点づくり」 拠点づくりは重要です。「拠点」がなければ進みません。町として、どこにどのような「拠点」をつくろうと考えておられるのでしょうか。	41	第3章 基本指針3	●観光資源をはじめとしたまちのコンテンツを発信したり、町内外の人が集まったりする憩いの拠点などを考えています。(P74 主要な取組み①をご覧ください。)	変更なし
38	法的拘束力はないものの、同性カップルを公的に認める「パートナーシップ(宣誓)制度」が広がりを見せています。近隣では兵庫県川辺郡猪名川町がすでに導入しており、参考になります。豊能町でもこの制度を導入して移住促進を期待すると共に、住民の多様性尊重の意識を高めるのが良いと思います。	45	施策3	●個別の取組みに関する貴重なご意見として承ります。 ●大阪府内においても8自治体(令和3年10月末時点、大阪府含む)が施行しており、本町におきましても、近隣市町村の動向を踏まえ検討していきます。	変更なし
39	計画(案)の施策4「いつでも生きがいが持てる健康寿命延伸」の主要な取組み2では、「がん検診などの受診率が低く、疾病の早期発見ができない状態にある。」と分析されています。しかし、特定健診いわゆるメタボ健診では豊能町は大阪府内でトップクラスの受診率です。保健福祉センターの保健師さんに伺ってもその理由はよくわからないようですが、特定健診の受診率が高いことは生活習慣病の早期発見につながっている可能性が高いです。がん検診の受診率が低いというのはどのようなデータに基づく記載なのかわかりませんが、必ずしも町民の健康意識が低いとは言えないです。意識が高いと思われる点についてはそれを生かしたいので特定健診の受診率が高いという記載を加えてはいかがでしょうか？	46	施策4	●施策4主要な取組み②「全世代へのポピュレーションアプローチで健康を意識したセルフケア」は、若者や現役世代の健康に対する意識が低いことを問題にした取組みです。 ●ご指摘のとおり、特定健診全体の受診率は50%程度と高いのですが、40代から50代にかけての受診率は20%程度しかありません。 ●ご意見の意図とは異なるかもしれませんが、特定健診においても若者や現役世代の意識は低いことが明確になるよう、ご意見を参考に所要の修正を行います。	変更
40	住民参加で豊能町の手書き地図を作ってみようというイベントをしてみても、よい地図ができれば町内で配布してはいかがでしょうか？このイベントについては「地元を再発見する！手書き地図のつくり方」という本を読んでいただくのが早いです。この本の執筆者と関連のある「株式会社ロケッコ 手書き地図推進委員会」に依頼すれば、イベントの運営をサポートしてくれるようです。	52	施策9	●個別の取組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
41	転入者誘致には、強力な情報発信が必要です。プロモーション専任チームを設置して、マスメディアやWEB媒体を通じたメディアミックス計画を実行する。豊能町の情報収集と情報発信の一元化と能力強化を集中実施する。	52	施策9	●個別の取組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
42	コワーキングスペースの提供も有効ですが、定住住居も併せて提供と、クラウドファンディングを活用して支援する体制があれば、一段と効率が高まります。	58	施策14	●個別の取組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
43	「農業と新電力・再生可能エネルギー」期待しています。	60	施策16	●貴重なご意見をいただきありがとうございます。	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
44	「拠点」は本当に必要です。	61	施策 17	●訪れる人も、住んでいる人も利用できる自然を活かした拠点を整備し、地域の賑わいづくりと働く場を提供したいと考えています。	変更なし
45	主要な取組み②「農作物を守り命をいただく有害鳥獣の駆除と活用」R13 目標中、「有害鳥獣を駆除する者や団体が」は「有害鳥獣を駆除する人や団体が」ではないでしょうか。	63	施策 19	●有害鳥獣駆除従事者という意味で「者」としています。	変更なし
46	主要な取組み①「農産物直売所で地産地消」R13 目標 そのような状態になっていることを願っています。	64	施策 20	●貴重なご意見をいただきありがとうございます。	変更なし
47	主要な取組み②「まちづくり農業法人」R13 目標 「農業法人」の育成は必要不可欠だと思います。	64	施策 20	●貴重なご意見をいただきありがとうございます。	変更なし
48	主要な取組み①「まちづくりを支える交通サービスの提供」交通サービスの充実は基本中の基本です。	66	施策 21	●貴重なご意見をいただきありがとうございます。	変更なし
49	いわゆるガラケーは新規機種が少なく、高齢者であってもスマホを使っている住民が増えています。しかし、高齢者の場合には通話やカメラとしての使用が中心で、それ以上の活用が不十分な場合が多いようです。行政などからの情報を LINE で届けることで、多くの住民がスマホを使いこなすきっかけとします。 「豊能町防災」「豊能町医療介護」「豊能町子育て」「豊能町まちづくり」といった LINE グループを設定して、町役場、支所、保健福祉センター、国保診療所などの窓口で住民のスマホにそれらの LINE グループを設定していただきます。高齢者の場合などは、職員が設定させていただくのがよいと思います。「豊能町防災」は原則として全員に設定してもらい、その他のグループは本人の関心のあるものを選択します。 例えば「豊能町医療介護」グループでは、ワクチン接種に関する情報、特定健診やがん検診に関する情報、健康・医療・介護に関するイベントの告知といった情報を流します。 2021 年 10 月に豊能町国民健康保険診療所に内科診察および特定健診に来られた方（多くは高齢者）に携帯電話について私が直接伺ったところ、66 人から回答が得られ、スマホ 44 人、ガラケー 14 人、持っていない 8 人でした。2021 年 3 月発行の「豊能町介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 豊能町在宅介護実態調査 報告書」のための調査時点では、東地区住民 1195 人のうちスマホ利用は 473 人（39.6%）だったとのことですが、スマホ利用者は増加していると思われる。	66	施策 21	●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。 ●施策 21「快適で住みやすい環境の整備」主要な取組み②「ICT・IoT 技術によるスマートシティの実現」において、スマホ教室など情報格差（デジタルデバイド）の解消に向けた事業を実施していくこととしています。	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
50	「安全・安心」ではないでしょうか。	67	施策 22	●ご意見のとおり文言を修正します。	変更
51	主要な取組み①「防災・減災対策の推進（防災意識の普及・啓発）」 R13 目標に「地区ハザードマップによる点検が進んでいる」を追加することをお願いします。	67	施策 22	●地区ハザードマップによる危険個所の点検は大切ですが、地区ハザードマップが未作成であっても、地域や身近な人で助け合う共助が機能しつつ、だれもが安心して暮らせる災害に強いまちづくりや、支援体制が図られることを目標としています。	変更なし
52	主要な取組み②「ICTと自然が融合した低炭素なまちづくり」「電気自動車ステーションの普及促進」、「電気自動車や太陽光、バイオマスなどの再生可能エネルギーも普及し」と記載されていますが、「自然に抱かれた多様性・創造性で未来が輝くまち とよの」を築くためにも重要なことです。12月議会での行政側の答弁では、こられのことに對して、否定的な回答が続きました。町は、この「総合まちづくり計画（案）」をどのように捉えているのでしょうか。	71	施策 26	●住民協働のもと、これからも幸福度が高い安心して充実した暮らしを送り続けることができるまちをめざし、10年後の豊能町のあるべき姿を考え、その実現に向けてまちづくりを進めていくための指針として、豊能町総合まちづくり計画を策定します。（P4 計画策定の趣旨をご覧ください。）	変更なし
53	「広域観光の経由地として立ち寄ってもらえる環境や道路、駐車場、トイレなどの観光地に必要な施設の整備にも取り組む。」と、されていますが、町は、どこに、どのような施設を整備しようとしているのでしょうか。町の方針を示し、住民の皆さんと議論し、合意を得るよう努めてほしいと思います。	73	施策 28	●改善に向けた必要なこととして記載しているものであり、整備することが決定しているものではありません。 ●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
54	まず、所有者の許可をいただいた上で、町内の古民家の前に建物の紹介文とバーコード入りの看板を立てさせていただきます。サイクリストやハイカーがスマホでそのバーコードを読み込むと、その時点での築年数分のポイントを貯められるようにします。一定数以上のポイントを集めた方が申請されると記念品が受け取れるようになります。 集客力の大きい観光資源に乏しい豊能町ですが、古民家なら割とあると思います。この仕組みでハイカーやサイクリストを呼べると思いますし、古民家に住んでみたい、古民家でお店を開きたい、古民家を買いたいといった人が出たら、移住促進や空き家対策にもなります。	73	施策 28	●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
55	「人を呼び込む」とか「多様性を尊重する」とか記載されていますが、外国人を町に呼び込むという視点が全体的に欠けていると思います。例えば、施策 6 主要な取組み 1 目標では「高齢者や障害者、子どもなど、だれもが」、施策 15 主要な取組み 2 目標では「高齢	その他	外国人に向けた施策について	●ご指摘の施策は、すべての人を対象としたものであり、外国籍の方にも必要な施策は行っていく必要があると考えています。	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
	者、障害者、女性が働き、」、施策 25 主要な取組み 1 目標では「高齢者、障害者、子どもなどが」とそれぞれ記載がありますが、いずれについても「外国人」を加えて、外国人にも来てもらえるまちづくりを考えてみてはいかがでしょうか？			●基本指針1基本施策4「まちを好きと思ってもらえる移住・定住促進」や、基本指針3基本施策4「交流人口の増加で新たな風土づくり」といった取り組みの中で、外国籍の方にも来てもらえるようなまちづくりを進めていきます。	
56	豊能町で発生した程度のダイオキシンでは健康被害は起こらないことは科学的にはもうはっきりしています。ダイオキシンについては処分法について法律ができてしまっていますが、それに抵触しない方法で埋めるなどの処分をしましょう。今なら世間の人々の不安は新型コロナウイルスによるものが大きいので、ダイオキシンについての風評被害も起こりにくいと思います。処分してしまえば現在ダイオキシンを含んだ廃棄物が置かれている保育所跡地の有効利用もできると思います。埋め立てなどの処分地のある地域に迷惑料的な意味で何らかの優遇措置を取ることは認めるべきだと思います。過去の経緯が色々あったと思いますが、前向きに対応するのがよいと思います。	その他	ダイオキシン問題について	●ダイオキシン問題については、豊能町にとって重要な行政課題と認識しています。現状では、まず豊能郡環境施設組合において対応しているところです。 ●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
57	パブリック・コメント用資料を読んでも豊能町の将来は非常に厳しいと思います。行政機能を維持する最後の手段としては近隣市との合併があると思います。2004年に池田市との合併構想が持ち上がりましたが、この時は当時の池田市長の倉田薫氏によれば「豊能町に振られて」話がつぶれました。改めて豊能町から言い出せば池田市は乗ってくるかもしれません。ただ、この場合に新しい市は「池田市」の名称になると思われます。箕面市、池田市、能勢町、豊能町が合併という話であれば、元々いずれも豊能郡だったので「豊能市」という名前にできるかもしれません。豊中市も豊能郡だったので、豊中市が反対するかもしれません。ただ、現状では箕面市民も池田市民も「何で合併しなあかんの？」という人が多くて難しいと思います。将来近隣市との合併を申し入れることになった場合に、その時の豊能町ができるだけ良い状態にしておかないと合併を頼んでも厳しい条件（例えば東部の義務教育学校は廃止せよとか）を付けられてしまうかもしれません。「合併してもよいけれど、合併しないとやっていけないほど状態が悪いわけではない」程度の町の状態を維持したいところです。本気でまちづくりに取り組みないと町が無くなってしまふよと警鐘を鳴らす意味であえて辛口のコメントを書きました。	その他	市町村合併について	●貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
58	<p>今後の豊能町の運営にはかなり厳しい選択が必要になる可能性が高いと思います。近隣の豊中市は2009年3月に「豊中市市民投票条例」を施行しています。市の合併などの市および市民全体に利害関係がある事案について、市に住所を有する18歳以上の人がその総数の6分の1以上の署名を集めれば、市長は必ず市民投票を実施すると定めています。今後、豊能町も住民全体で時に厳しい選択を行う必要がある時がくるとは思います。そのような時に民意を問うことができる仕組みを作っておくと良いと思います。豊中市の例を見ると町民投票制度を作るとして制度設計には大きく2つの論点があると思います。</p> <p>1. 18歳以上の住民総数の6分の1の署名を要件とするので良いのか？（豊中市では条例制定後に市民投票が行われた事例はないそうです。豊能町で18歳以上の住民総数の6分の1とすると2900人程度と思われる。）</p> <p>2. 豊中市は外国籍の人でも3ヶ月以上住んでいれば、署名や投票ができることにしているが、それで良いのか？（私自身は町の多様性尊重の姿勢を示す意味で同様の制度がよいと思います。武蔵野市によると、2020年12月時点で、常設の住民投票条例がある全国78自治体のうち43自治体は外国籍の住民に投票資格を認めているそうです。）</p>	その他	住民投票条例について	●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
59	<p>（私が今回提案するものの中では最も過激なアイデアだと思いますが、全国多くの地域で町づくり町おこしが行われており、その中で差別化するには思い切った事業が必要だと思います。）</p> <p>2021年6月17日に報道されていた話題です。在日ムスリム（イスラム教徒）は10万人ほどおられますが、ムスリムが望む土葬が可能な墓地が日本にはほとんどなくて、困っておられるそうです。ムスリムが望む土葬が可能な墓地を豊能町に整備してはいかがでしょうか？お墓を建てたいムスリムが豊能町に来てくれて、お墓参りの遺族も来てくれることも期待できます。ムスリムのお墓は遺体の顔をメッカに向ける必要からお墓の向きを一定にしないとけません。墓石の質や形にはあまりこだわらないという意見もあるようですが、やはりムスリムらしい墓石を石材店に提供していただくのがよいと思います。また、ムスリムが町に来られるようになれば、豚を食べることを避けるムスリムの習慣に対応できる食事（ハラールフー</p>	その他	土葬可能な墓地の整備について	●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
	ド)を提供できるお店のニーズが高まります。多様性を尊重するという町の姿勢をアピールすることにもなります。				
60	<p>豊能町の現状を変革するための最重点課題はあらゆる場面でのコミュニケーション改革だと考えています。そのために全精力をかけて実行すべきです。例えば、具体的に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内全施設、全住居にデジタルネットワークを敷設してこれまでの日本にないようなデジタル環境を確立する。 ・ デジタル機器を全戸に配布し、町内ネットワークを確立、住民とのコミュニケーションツールを開発する ・ 高齢者も子育て世代もすべてがつながる新しいデジタル・コミュニティを作り上げる ・ そのために国、府、民間企業に働きかけてそのための特別な基金を設置する 	その他	コミュニケーション改革について	●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
61	<p>パブリックコメントを急いで読んでみて、感じたことは、広範な専門的策定で、10年後の現状の分析などデータも添えられて説得力があるものでした。それと同時に一般的に10年間の政策骨子としてはこのように記載されものかも知れません。人口の減少→公共施設維持管理困難→過疎化による僻地化→廃村、の経過をどう発展的に変えるのかが、主要なテーマであると思います。このため人口1万5千人維持を目指すとして策定されています。ここでは移住者の受け入れ、現住民の永住と移住者の永住、または元住民の帰郷が主題になることは明らかです。日本各地のスタンスから見ると、東京、愛知、大阪の圏域以外は減少になっている昨今、減少経過を止めるだけでも、ハードルの高い目標であるように思えます。現在の財政事情でどれほどの、施策が実施出来るかは、自助、共助しかないように思います。政策の実施には、人・物・金・情報などの要件が他の市町村に勝ること、せめて大阪・神戸への通勤圏域のなかで、優先的地位をもち、好評することが必要です。その中で、最も手っ取り早いのは、情報の活用だと思います。情報は利用出来る情報と圏外に与える情報（PR）があります。また、PRの為の施策もあります。圏外の方が、なぜこの町を選んだのか、最近、西地区では新築して移住されてくる人が、少し増えているように見えます。今の人のニーズは何なのか、開発時代に住み着いた人のニーズは何だったのか、重要なテーマだと考えられます。一方では現住の方は豊能町に都市圏並み活性化を求めていたでしょうか。通勤時間にとられ</p>	その他	専門的独立的機構の設立について	●貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
	<p>ても、得られる快適さ、また余生を想像していただいでしょう。これから必要なことは、自分の時代で終わっても仕方がないと思うのか、お互いに協力しあって存続を目指すのか、中間的に生きながらえるかです。ところが限られた条件のなかで、住民の活力は欠かせないでしょう。そして活力を継続させる、失望させない施策が住民と共鳴して、圏外から見て素晴らしいと思われるまで高まって、移住者が増えると思います。単純なことは住民の声の反映です。古い話。ローマは一日にしてならずの時代、ローマの圏域に入れば、安全と都市の発展がみられると歓迎されました。そのため道路、水道、スタジアムが建設しました。豊能町は存続して、なにが与えられるのでしょうか。住民への夢は何でしょうか。1万5千人にするためなのは、現在の環境・施設を維持するためとありました。それだけで人が動くでしょうか、豊能町のような町に住んでみようという声ですが、町の内外から伝わるのが大切だと思います。抽象論となってしまうましたが、何をなすべきかは、まず町の過去、現在、未来を専門的に、継続的に検証、立案出来る、既存の組織とは別に、専門的独立的機構を早期に設置することだと思います。パブリックコメントを創っても、経過だけ検証するのでは、手遅れになる公算が大きいに思われます。この機構は、すべてが財政・予算上の話に終わってしまって活力がなくなりそうな現状に、違った輝きを与える話ではないでしょうか。夢をつくる組織、夢にしない組織、実現できると思わせ組織です。すでにこの種の組織があるのでしたら、その組織力を発揮してほしいと思います。住民としての思いと意見です。</p>				
62	<p><「エコロジーなまち」を統一イメージに>0 私は、豊能町が生き残る道は、エコロジカルで、持続可能性のある地域作りだと思います。地球温暖化による異常気象の日常化を誰もが感じています。脱炭素が世界的な共通ワードになりつつあります。そうした中で、エコロジカルな生き方に関心を持つ人々、とりわけ若い人々が急増しています。このような生き方を模索する人々に注目してもらえるような「まちづくり」が必要だと考えます。具体的には、西地区では、エコロジカルな住宅地としての付加価値を高める「まちづくり」、東地区では農業を軸として、地産地消の拠点としての「まちづくり」、そして統一イメージとして「エネルギー地産地消のまち」「エコロジーなまち」と掲げるべきだと思います。</p>	その他	エコロジーなまちについて	●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
	<p>す。ガソリンスタンドが町内に一軒もないことを逆手にとって、エコロジーを徹底的に重視した「まちづくり」を掲げることで、いまの地球温暖化や気候危機を憂慮する人々を惹きつけることができるでしょう。日本全体での人口減少に歯止めがかからず、コロナによってさらに少子化に拍車がかかっているのが現状です。その中で、どういう意識を持った人々を町に迎え入れたいかを明確にすることがこの「総合まちづくり計画」の眼目となるべきです。そうでないと、とりわけ東地区への転入促進は難しいと考えます。</p> <p>そのためには、地域の中でエネルギーを地産地消するような「まちづくり」、能勢町とも共同して農産物を地域で作し、地域で消費するような「まちづくり」をめざすべきです。豊能町に住んで欲しいという一般的な呼びかけではなく、ターゲットを絞った人口の社会増を考えるべきだと思います。現に、能勢町と共同で設立した新電力会社などのリソースがあるわけですから、思い切った転換を可能とする素地はあるはずで</p>				
63	<p><住宅地としての付加価値を高める></p> <p>一方、西地区では、住宅地としての付加価値を高める「まちづくり」が必要ですが、その際にも住宅新築時の太陽光パネル設置への補助金など、豊能町に住むことによってエコロジカルな生活を可能にしようというアピールをすべきです。たとえば、公共施設への「太陽光パネル」の設置（西地区の小中一貫校の屋上も含めて）は、そうしたアピールの象徴的存在となりえます。私が住んでいるときわ台では、高齢の住民の方が亡くなったり、施設に入ったり、町外にある子どもの家で同居したりといった理由で、空き家がどんどん増えています。しかし、その増加のペースには追いついていませんが、新築の住宅も結構建てられています。新築の住宅はほとんどがいわゆるプレハブ建築で、庭に木を植えることもないので、やや殺風景になっていく印象があって、以前から住んでいるものには一抹の寂しさはありますが、子どもたちが遊んでいる姿を見ることができるのはやはり嬉しいものです。こういう方々が、豊能町の住むことを決められたには何か理由があるはずで、それを分析することで、住宅地としての付加価値を高める方策が見えてくると思います。なぜ豊能町に住むことを選んだのか、詳しく意識調査をすることで、どのようなニーズがあるかを把握して、転入促進のプログラムを効果的にすることができます。西地区では、エコロジカルな</p>	その他	住宅地としての付加価値について	●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
	まちを共に創ろうという呼びかけとニーズにマッチした対策を講じることで、ある程度の転入を実現できるのではないのでしょうか。				
64	<p><「貧困」問題に留意した「まちづくり」を> それともうひとつ、これからの「まちづくり」の中で考慮すべきなのは、「貧困」の問題です。数年前に、町内で学習塾（公文）をやっていた友人に話を聞いたことがあります。その友人によれば、以前は何科目かまとめて受講する子どもが圧倒的多数だったのが、最近になって様子が変わってきたというのです。1科目だけを受講する生徒、お試し期間で無料のあいだだけ受講する生徒（お試し期間のたびに受講してくるそうです）が多くなってきた、それだけ経済的に苦しい家庭が増えたのではないか、という話でした。これはいわゆる団塊ジュニアの層の家庭です。私たちの子ども世代と重なる年代層ですが、その世代はほとんどが町外に住み、町外で仕事をしています。しかし、中には事情があって、実家に戻らざるを得なかった人たちがいて、親の年金と自らの非正規の給与で生活しているのではないかと推測できます。そうした例もいくつか知っています。私たちの世代が次第に数少なくなっていく、親の年金に頼れなくなった際に問題が一気に顕在化するのではないかと心配しています。</p>	その他	貧困問題について	●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし
65	<p><「まちづくり」への住民参加＝「住民参加型」予算> 私は、昨年11月に行われた「公共施設再編ワークショップ」に参加して、非常に有益な経験をしたことは冒頭に書きました。先日の「公共施設再編検討委員会」でも、事務局の方から「ワークショップに参加した町民は、公共施設だけでなく、まちづくりにも大きな関心を持っているので、来年度もまちづくりも含めたワークショップをぜひ開催したい」との発言がありました。ワークショップの場には、リタイアする前には自治体の財政問題を担当していた方や公共事業や施設建設に関わっていた方もおられ、貴重な意見を伺うことができました。こうしたワークショップの機会をぜひ増やしてもらい、「まちづくり」計画への住民参加の機運を盛り上げて欲しいと思います。そして、今後の「まちづくり」への住民参加を制度的に保障するものとして、ぜひ検討してもらいたいのが「住民参加型予算」の実現です。ブラジル南部の都市、ポルト・アレグレではじまった「住民参加型予算」は、大きな成果を上げ、現在では世界の1,500以上の都市で行われていると言われています。住民自身が町の</p>	その他	住民参加型予算について	●個別の取り組みに関する貴重なご意見として承ります。	変更なし

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
	予算や自らの居住地の予算の使い道を決めていくというこのとりくみは、地方自治への住民参加の一つの到達点です。一気に難しくても、公民館や小学校跡地の一部施設の管理を住民に任せるところから始めてもいいでしょう。確実に住民の意識が変わっていくと思います。町の方針は町で決める、「住民参加」は町の仕事の下請けだけ、というのでは、「まちづくり」に住民が主体的に参加する機運は盛り上がりません。				

(3) 総合まちづくり計画と第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略との関わり

No	意見内容	頁	章・節等	意見に対する考え方	対応
66	<p>「基本計画に掲げた主要な取り組みは58あり（59ではないか？）、行政だけではすべての事業を実施することは逼迫した財政状況等からも非常に困難です。」と言い切っています。事業を進めるには、「人」「物」「金」「情報」の資源が必要です。町にそれらの資源がなく、「住民」「団体 地域」「NPO法人」「企業事業者」と連携しながらまちづくりを進めますとは、町は全く無責任です。この計画は、「絵に描いた餅」と言わざるを得ません。町は何をするつもりなのですか？ 以前より町政運営方針で住民と協働して町政を進めたいと述べながら、具体的な協働システムが構築されてきていません。町がこのまちづくり計画を実施するための「人」「物」「金」「情報」の資源の計画が必要ではないでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人」では、町職員の必要人数は？ ・住民との協働システムを構築して、事業を進めるのに参加可能な人数は？ ・15,000人の計画人口で「金」すなわち税金などの収入がどれほど見込めるか？ 	77	基本計画の実施と展開	<ul style="list-style-type: none"> ●主要な取り組みは59ありますので修正します。 ●第2章「基本計画の実施と展開」にも記載のとおり、逼迫した財政状況等から、行政だけですべての事業を実施することは困難です。しかし、新しいことに挑戦しなければ、まちの将来像の実現や目標人口の維持は難しいものとなっています。 ●本計画の実施に当たっては、多様な主体がそれぞれの役割を持ち、互いに連携しながらまちづくりを進めていきます。 ●町としては、多様な主体への各種支援や連携、関係人口の確保、府や周辺自治体との連携など、行政だからこそ出来ることを中心にまちづくり活動に取り組みます。 ●総合まちづくり計画の推進に関する貴重なご意見として承ります。 	<p>変更</p> <p>変更なし</p>

4. パブリック・コメントによる修正

No	頁	修正後	修正前
1	19- 20	表【総人口及び年齢区分別人口の推移】 表【世帯数などの推移】 表【老年人口割合・年少人口割合】 上記3表について、最新の国勢調査結果を反映させる。	記載なし
2	27	基本指針1の漢字表記をひらがなに修正 住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	基本指針1 住民主役のまちを作り出す“ひとづくり”
3	28	基本指針1（3行目以降）に下線部を追加 そして、人と人がつながり合い、お互いに自分らしさを発揮することを 応援し合う <u>多様性を発揮する</u> まちとして、住民が主人公のまちづくりを 推進することで、まち全体に魅力と賑わいをつくり出し、幸福度が高い まちとなることをめざします。	基本指針1（3行目以降） そして、人と人がつながり合い、お互いに自分らしさを発揮することを 応援し合うまちとして、住民が主人公のまちづくりを推進することで、 まち全体に魅力と賑わいをつくり出し、幸福度が高いまちとなることを めざします。
4	28	基本指針1●まちの未来につながる教育の推進の文章を一部削除 まちは住む人のためにある。“ひとづくり”は就学前から始まり大人に なっても終わりはありません。地域とともにまちをつくり上げていく。 そんな豊かで行動力のある人を育てていくための教育を行う基本施策 です。	基本指針1●まちの未来につながる教育の推進 まちは住む人のためにある。 <u>どんな人に住んでほしいのか</u> 。“ひとづく り”は就学前から始まり大人になっても終わりはありません。地域とと もにまちをつくり上げていく。そんな豊かで行動力のある人を育ててい くための教育を行う基本施策です。
5	28	基本指針1●いつまでも健康で、みんなが活躍するまちに下線部を追加 すべての人に健康的な生活を送ってもらい、元気で長生きしてもらおう。 そして、元気な人にはどんどん社会参加してもらおう。そんな未来に向け て、 <u>健康寿命を延ばし</u> いびつな人口構造の中でもまちに活力を生み出す ため、元気で健やかに暮らせるように福祉・医療を充実する基本施策で す。	基本指針1●いつまでも健康で、みんなが活躍するまち すべての人に健康的な生活を送ってもらい、元気で長生きしてもらおう。 そして、元気な人にはどんどん社会参加してもらおう。そんな未来に向け て、いびつな人口構造の中でもまちに活力を生み出すため、元気で健や かに暮らせるように福祉・医療を充実する基本施策です。
6	36	基本指針1の漢字表記をひらがなに修正 住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	基本指針1 住民主役のまちを作り出す“ひとづくり”
7	37	施策2主要な取組み②「社会を生き抜く力」のある青少年の育成に下線	施策2主要な取組み②「社会を生き抜く力」のある青少年の育成

No	頁	修正後	修正前
		部を追加 世代を超えた多様な他者との交流と共同体験の機会を充実させ、 <u>ふるさとを愛しグローバルな視点を持つ人材の育成をめざす</u>	世代を超えた多様な他者との交流と共同体験の機会を充実させる
8	37	施策4 主要な取組み①元気な高齢者が活躍するまちの文章を一部削除 元気な高齢者が多いのも本町の特徴。これからは元気な高齢者も支える側として活躍するひとづくりを進める	施策4 主要な取組み①元気な高齢者が活躍するまち 元気な高齢者が多いのも本町の特徴。これからは元気な高齢者も支える側として、 <u>70代半ばまでが支える世代として活躍するひとづくりを進める</u>
9	42	基本指針1の漢字表記をひらがなに修正 住民主役のまちをつくり出す“ひとづくり”	基本指針1 住民主役のまちを作り出す“ひとづくり”
10	46	施策4 主要な取組み②全世代へのポピュレーションアプローチで健康を意識したセルフケア R4 時点の文章を修正 <u>特定検診の全体受診率は大阪府下でもトップクラスの高い受診率となっているが、世代別に見ると40代から50代にかけては20%程度の受診率しかなく、若者や現役世代の健康に対する意識が低いことがうかがえる。また、がん検診の受診率は総じて低く、健康保険を切り替える際の受診歴や健診結果のデータ連携が出来ていないことなども影響して、相談や受診が遅れることによる疾病の早期発見ができない状態にある。</u>	施策4 主要な取組み②全世代へのポピュレーションアプローチで健康を意識したセルフケア R4 時点 若者や現役世代の健康に対する意識が低く、がん検診などの受診率も低くなっている。また、保険者間の連携が難しく、相談や受診が遅れることによる疾病の早期発見ができない状態にある。
11	67	施策22 安心・安全なまちの基盤整備の文言を修正 (施策名) <u>安全・安心なまちの基盤整備</u>	施策22 安心・安全なまちの基盤整備 (施策名) 安心・安全なまちの基盤整備
12	77	第2章基本計画の実施と展開の文中件数を訂正 基本計画に掲げた主要な取組みは <u>59</u> あり、行政だけですべての事業を実施することは逼迫した財政状況等からも非常に困難です。	第2章基本計画の実施と展開 基本計画に掲げた主要な取組みは 58 あり、行政だけですべての事業を実施することは逼迫した財政状況等からも非常に困難です。